

第23回 ニッセイ財団 助成研究ワークショップ

「協働による持続可能な流域圏づくりに向けた空間情報プラットフォームの可能性」

－ 神奈川拡大流域圏を対象に－

(開催日時)2008年12月13日(土) 13:00～18:00

(開催場所)みなとみらい21 パシコ横浜 アネックスホール

プログラム

13:00～13:15	開会あいさつ	ニッセイ財団 理事長	石橋 三洋
		横浜国立大学グローバル COE プログラム拠点リーダー	松田 裕之
13:15～13:25	趣旨説明	横浜国立大学教授	佐土原 聡

【第1部：報告（問題提起）】

13:25～13:45	持続可能な国土利用とその担い手	武蔵工業大学教授	小林 重敬
13:45～14:05	神奈川水源域の実態と丹沢大山総合調査	東京農工大学名誉教授	木平 勇吉
14:05～14:25	自然産業による環境再生	横浜国立大学教授	嘉田 良平
14:25～14:45	かながわ水源環境保全再生と水源環境税	横浜国立大学教授	金澤 史男

休憩：14:45～15:00

【第2部：報告（成果報告）】

15:00～15:15	流域圏空間情報プラットフォーム概要	横浜国立大学教授	佐土原 聡
15:15～15:35	地下構造立体モデルと水循環シミュレーション	東京大学教授	登坂 博行
15:35～15:55	大気循環シミュレーション	産業技術総合研究所（グループ長）	近藤 裕昭
15:55～16:40	プラットフォームで見る神奈川拡大流域圏内の実態と流域圏外との関係	横浜国立大学教授	佐土原 聡・長谷部勇一

休憩：16:40～16:55

【第3部：ディスカッション】

16:55～17:55 ディスカッション「空間情報プラットフォームの活用可能性」

進行： 佐土原 聡

(コメンテーター)

・地球科学の視点から	横浜国立大学教授	有馬 眞	
・土壌生態系の視点から	横浜国立大学教授	金子 信博	
・水環境の視点から	横浜国立大学教授	益永 茂樹	
・まちづくりの視点から	横浜国立大学教授	高見沢 実	
・自治体の視点から	秦野市環境産業部参事	津田 信吾	
・市民活動の視点から①	神奈川県自然保護協会		
・市民活動の視点から②	桂川・相模川流域ネットワーク		
・市民活動の視点から③	桂川・相模川流域協議会		
17:55～18:00	閉会あいさつ	横浜国立大学副学長	渡辺 慎介